



2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年2月12日
上場取引所 東

上場会社名 アイダエンジニアリング株式会社
 コード番号 6118 URL <http://www.aida.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 会田 仁一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 管理本部長 (氏名) 鶴川 裕光 (TEL) 042-772-5231
 四半期報告書提出予定日 2019年2月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日~2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	61,257	20.7	3,723	△10.1	4,109	2.3	2,783	3.2
2018年3月期第3四半期	50,763	6.5	4,141	△8.6	4,016	△16.2	2,696	△20.9

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 970百万円(△82.4%) 2018年3月期第3四半期 5,509百万円(105.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	45.11	45.01
2018年3月期第3四半期	43.71	43.60

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第3四半期	113,387	74,934	65.5	1,202.74
2018年3月期	116,108	75,924	64.8	1,219.02

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 74,232百万円 2018年3月期 75,210百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	—	—	30.00	30.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,000	8.3	6,050	△4.2	6,600	11.3	4,900	2.4	79.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は添付資料7ページ「(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項」の「(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期3Q	73,647,321株	2018年3月期	73,647,321株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	11,927,927株	2018年3月期	11,950,279株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期3Q	61,707,164株	2018年3月期3Q	61,695,351株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	9
受注の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済については、先進国、新興国ともに景気拡大局面が続いているものの、中国や欧州等の主要国における景気減速により全体として力強さを失いつつあります。今後も主要国経済の減速に加え、貿易摩擦、英国のEU離脱問題等、国内外で景気の下振れリスクは拭えない状況です。

鍛圧機械製造業界におきましては、国内、海外ともに受注が増加し、当第3四半期連結累計期間の受注は前年同期比21.2%増の144,386百万円（一般社団法人 日本鍛圧機械工業会 プレス系機械受注額）となりました。

このような状況の下、当社グループの当第3四半期連結累計期間の受注高は、昨年度計上した大口受注の剥落もあり、62,716百万円（前年同期比6.2%減）となりましたが、受注残高は60,779百万円（前年度末比2.5%増）となりました。売上高は、米州以外での自動車関連向けプレス機械の売上増加や日本リライアンス株式会社の新規連結効果等により、61,257百万円（前年同期比20.7%増）となりました。利益面では、原価率の上昇等により営業利益が3,723百万円（同10.1%減）となり、経常利益は為替差損益の改善等により4,109百万円（同2.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,783百万円（同3.2%増）となりました。

セグメント毎の業績は以下のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較につきましては、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」をご参照ください。

- 日 本：自動車関連向けプレス機械の売上増加や日本リライアンス株式会社の新規連結の影響等により、売上高は38,196百万円（前年同期比20.6%増）となったものの、セグメント利益は原価率の上昇等により、1,530百万円（同28.3%減）となりました。
- 中 国：自動車関連向けプレス機械の売上増加により、売上高は10,126百万円（前年同期比44.2%増）となり、セグメント利益は増収により584百万円（同182.3%増）となりました。
- アジア：自動車関連向けプレス機械の売上増加等により、売上高は6,823百万円（前年同期比8.3%増）となったものの、セグメント利益は原価率の上昇等により915百万円（同24.6%減）となりました。
- 米 州：自動車関連向けプレス機械の売上減少等により、売上高は12,480百万円（前年同期比11.2%減）となり、セグメント利益は減収及び原価率の上昇等により568百万円（同31.7%減）となりました。
- 欧 州：自動車関連向けプレス機械やサービスの売上増加等により、売上高は11,325百万円（前年同期比15.3%増）となったものの、セグメント損益は原価率の上昇等により53百万円の損失（前年同期は101百万円のセグメント利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態の状況については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

当第3四半期連結会計期間末の資産については、前年度末に比べて2,721百万円減少し、113,387百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少2,963百万円、棚卸資産の増加1,804百万円、投資有価証券の減少2,002百万円等であります。

負債は、前年度末に比べて1,731百万円減少し、38,453百万円となりました。主な要因は、前受金の減少1,460百万円等であります。

純資産は、前年度末に比べて990百万円減少し、74,934百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金の減少1,400百万円等であります。この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は65.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、中・大型プレス機械の工事進行基準の売上増加により売上高を78,000百万円から80,000百万円に変更し、想定していた粗利益の低下により、営業利益を6,250百万円から6,050百万円に変更しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	33,163	30,200
受取手形及び売掛金	22,444	23,460
電子記録債権	2,485	2,225
製品	2,312	3,392
仕掛品	11,038	11,805
原材料及び貯蔵品	4,014	3,972
その他	3,158	3,658
貸倒引当金	△226	△212
流動資産合計	78,390	78,504
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	24,664	24,995
減価償却累計額	△16,106	△16,451
建物及び構築物（純額）	8,558	8,543
機械装置及び運搬具	16,326	17,287
減価償却累計額	△9,579	△10,221
機械装置及び運搬具（純額）	6,746	7,065
土地	7,140	7,064
建設仮勘定	362	473
その他	3,535	3,514
減価償却累計額	△2,894	△2,952
その他（純額）	641	562
有形固定資産合計	23,449	23,709
無形固定資産	927	805
投資その他の資産		
投資有価証券	8,734	6,732
保険積立金	2,943	2,239
退職給付に係る資産	795	819
繰延税金資産	708	424
その他	195	184
貸倒引当金	△36	△32
投資その他の資産合計	13,340	10,367
固定資産合計	37,718	34,883
資産合計	116,108	113,387

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,374	7,379
電子記録債務	4,600	5,478
短期借入金	2,611	2,537
1年内返済予定の長期借入金	500	500
未払金	1,065	1,595
未払法人税等	1,156	409
前受金	11,745	10,284
製品保証引当金	717	656
賞与引当金	1,214	639
役員賞与引当金	52	24
受注損失引当金	105	129
その他	2,055	2,195
流動負債合計	33,198	31,831
固定負債		
長期借入金	1,000	1,000
長期未払金	820	827
繰延税金負債	3,039	2,682
株式給付引当金	344	398
退職給付に係る負債	1,461	1,416
その他	319	297
固定負債合計	6,985	6,621
負債合計	40,184	38,453
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,831	7,831
資本剰余金	12,486	12,489
利益剰余金	54,000	54,829
自己株式	△5,222	△5,213
株主資本合計	69,095	69,937
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,930	3,530
繰延ヘッジ損益	26	31
為替換算調整勘定	734	343
退職給付に係る調整累計額	423	389
その他の包括利益累計額合計	6,114	4,294
新株予約権	148	139
非支配株主持分	566	562
純資産合計	75,924	74,934
負債純資産合計	116,108	113,387

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
売上高	50,763	61,257
売上原価	39,663	50,378
売上総利益	11,099	10,878
販売費及び一般管理費	6,957	7,154
営業利益	4,141	3,723
営業外収益		
受取利息	62	73
受取配当金	115	147
養老保険満期償還益	28	13
保険解約返戻金	19	167
その他	99	114
営業外収益合計	325	516
営業外費用		
支払利息	31	27
為替差損	299	36
その他	119	66
営業外費用合計	450	130
経常利益	4,016	4,109
特別利益		
固定資産売却益	3	17
負ののれん発生益	28	—
その他	0	—
特別利益合計	31	17
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	14	184
その他	—	4
特別損失合計	14	189
税金等調整前四半期純利益	4,033	3,938
法人税等	1,336	1,147
四半期純利益	2,696	2,790
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,696	2,783

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	2,696	2,790
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,238	△1,400
繰延ヘッジ損益	△135	5
為替換算調整勘定	1,710	△391
退職給付に係る調整額	△1	△33
その他の包括利益合計	2,812	△1,820
四半期包括利益	5,509	970
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,509	963
非支配株主に係る四半期包括利益	—	6

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、「法人税、住民税及び事業税」及び「法人税等調整額」を「法人税等」として一括掲記しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	日本	中国	アジア	米州	欧州	計		
売上高								
外部顧客への売上高	18,698	6,586	2,877	13,695	8,905	50,763	—	50,763
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12,966	437	3,423	352	919	18,099	△18,099	—
計	31,665	7,023	6,300	14,048	9,825	68,863	△18,099	50,763
セグメント利益	2,133	207	1,214	831	101	4,487	△345	4,141

(注) 1 売上高の調整額はセグメント間取引高の消去額であり、セグメント利益の調整額はセグメント間取引消去に伴う調整額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	日本	中国	アジア	米州	欧州	計		
売上高								
外部顧客への売上高	25,098	9,501	3,474	12,211	10,972	61,257	—	61,257
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13,098	625	3,349	269	353	17,696	△17,696	—
計	38,196	10,126	6,823	12,480	11,325	78,953	△17,696	61,257
セグメント利益又は損失 (△)	1,530	584	915	568	△53	3,545	178	3,723

(注) 1 売上高の調整額はセグメント間取引高の消去額であり、セグメント利益又は損失(△)の調整額はセグメント間取引消去に伴う調整額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの区分方法の変更)

第1四半期連結会計期間より、当社グループ内の経営管理体制に合わせ、報告セグメントの区分方法を見直しております。従来「アジア」セグメントに計上していた中国事業を「中国」セグメントに、日本及び中国を除くアジア事業を「アジア」セグメントに区分して記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

3. 補足情報

受注の状況

当第3四半期連結累計期間の受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高		受注残高	
	金額（百万円）	前年同期増減率（％）	金額（百万円）	前年度末増減率（％）
日本	32,841	29.7	32,164	31.7
中国	6,911	△35.7	7,999	△24.5
アジア	4,199	19.7	3,136	30.1
米州	9,397	△37.4	8,388	△25.1
欧州	9,365	△23.9	9,090	△15.0
合計	62,716	△6.2	60,779	2.5

(注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。